

アンダーカテゴリーの競技環境整備について



アンダーカテゴリーの競技環境整備



● 小学校、中学校、高校世代のバスケットボール組織の再編（2018年度より）

【再編目的】

- ① 部活動と地域クラブ、Bクラブユースの共存繁栄
- ② 競技環境の整備・充実
 - ・リーグ戦の導入
 - ・競技会の再編
- ③ 育成環境の構築
 - ・U12/U14/U16育成センターの設置

アンダーカテゴリー競技会の開催スケジュール

【凡例】 IH：インターハイ、WC：ウインターカップ、JA：ジュニアオールスター、全ミニ：全国ミニ大会

FY	カテゴリー	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2018	U12												全ミニ
	U15					全中							JA
	U18					IH		国体		WC			
2019	U12												全ミニ
	U15					全中		国体					プレU15
	U18					IH				WC			
2020	U12												全ミニ
	U15					全中		国体		U15			
	U18					IH				WC	WC		

※2019年度の「プレU15」の実施、2020年度の「U15」、「WC」の開催日程については検討段階（2018年9月に方針決定予定）

U18カテゴリー競技会の改編について

年度	インターハイ出場枠数	ウインターカップ出場枠数
2017年度（参考）	59チーム	50チーム
2018年度	59チーム	50チーム
2019年度	48チーム+a	60チーム
	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度まで「47+開催県+登録チーム上位11」計59チーム ・2019年度より「47+開催県+高体連加盟校200校以上の県」 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京体育館が2020東京オリンピックに向けた改修工事で使用できないため、（段階的移行ではなく）2019年度より60チーム枠を導入（1・2回戦は2会場にて開催予定）

【参考】現状は、男女各50チーム、計100チーム

- (1) 各都道府県は男女各1チームの代表チームを選出（47チーム）
- (2) 実施委員会は当年度インターハイ優勝および準優勝の男女各2チームを推薦（2チーム）
- (3) 開催地は上記の他に男女各1チームを推薦（1チーム）

上記(1)～(3) 合計50チーム×男女



新規60チーム案：2019年度、2020年度の「2年限定」

- (1) 各都道府県から男女各1チームの代表チームを選出（計47チーム）
- (2) 当年度インターハイ男女「優勝・準優勝」の男女各2チームを推薦（計2チーム）
- (3) **全国9ブロックにおける各ブロック大会優勝の都道府県から男女各1チームを推薦。**
関東ブロックは、プラス準優勝の当該都道府県から男女1チームを推薦（計10チーム）
- (4) 開催地枠として開催都道府県から男女各1チームを推薦（1チーム）

上記(1)～(4) 合計60チーム×男女

※60チーム選出案を「2年限定」とした理由

2021年度以降の当該大会をU18選手権（クラブ、高校部活チームの混成）として大会改編していく事を考慮したため

※その他、今後の検討・調整事項

- ・エントリー人数の変更（15人⇒12人）
- ・交通費補助の再考（受益者負担への移行）

U15カテゴリー競技会の開催スケジュール（案）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2018年度	全国					全中 B:CS					B:FG (クラブ)		JAS
	都道府県	都道府県リーグ戦先行実施/2019年度リーグ戦準備											B:CC
2019年度	全国					全中 B:CC (クラブ)					(クラブ)		プレU15 B:CS
	都道府県	全中予選（部活）		クラブ/ユース（リーグ戦）			リーグ戦（部活、クラブ、ユース）						
2020年度	全国					全中 B:CC (クラブ)				U15			B:CS
	都道府県	全中予選（部活）		クラブ/ユース（リーグ戦）			リーグ戦（部活、クラブ、ユース）						

<その他検討事項>

1. オフシーズンの導入
2. 育成センター開催日程導入（開催日程の固定化）

	2019年度：プレ大会	2020年度：第1回大会
時期	2020年3月26日（木）～29日（日）予定 ※4日間	2020年12月23日（水）～29日（火）予定 ※7日間
会場	武蔵野の森総合スポーツプラザ	東京体育館（予定）
参加数	都道府県代表47チーム（予定）	都道府県代表47チーム（予定）
大会方式	トーナメント方式の優勝決定戦	トーナメント方式の優勝決定戦
参加資格	中学3年生の出場を認める	中学3年生の出場を認める
交通費補助	※検討中	※検討中
予選会	<ul style="list-style-type: none"> ・代表決定戦の方式は都道府県で決定してよい ・第1回大会の12月開催に合わせて早めに設定してよい ・リーグ戦に参加していることが望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ・トーナメント優勝戦方式により代表を決定する ・リーグ戦に参加していることが望ましい ・11月中旬までに代表を決定すること

【都道府県におけるリーグ戦とU15選手権大会予選との繋がりについて】

- (1) 2022年度大会（第3回大会）から、リーグ戦出場を予選参加の必須条件としたい。
- (2) リーグ戦の順位を予選に反映してもよい。（参加チームを絞る、シード枠を与える等）
 - ⇒ 登録チーム数が多い都道府県では、リーグ戦が実質的な1次予選となることもやむを得ない。
 - リーグ戦終了前に都道府県予選が開始される場合は、リーグ戦途中の決められた期日での順位を反映する。